

ogawara islands

小笠原諸島

教育旅行ガイドブック



心、動く島。

小笠原



学 び の 島 編

世界に誇るこの舞台で。極上の感動と学びを。

小笠原でお待ちしております。

小笠原諸島は本土から遠くはなれた太平洋上にある小さな島々です。
青い空、どこまでも透き通った海、白い砂浜はまさに亜熱帯の楽園です。
そして森には地球上で小笠原にしか生息しない動植物が息づいています。
この類まれなる恵まれた自然を舞台に、
様々な活動メニューを存分に体験し、感動してください。
そして、この自然に育まれた文化を村民と一緒に味わってください。
小笠原村民一同、みなさまを熱くお迎えいたします！
小笠原でみなさまと会えることを楽しみにしています。

World Natural Heritage Ogasawara Islands

世界自然遺産
小笠原諸島

2011年6月、小笠原諸島は人類共通のかけがえない財産として、将来の世代に引き続いていくため、世界自然遺産に登録されました。

小笠原諸島は東京から南に約1,000kmの太平洋上に位置し、大小30あまりの島々からなる海洋島です。大陸と一度も陸続きになったことがないため、海を越えて辿り着いた生きものは、競争相手が少ない中で島の様々な場所に分布を拡大しました。それぞれの場所で生活しやすい形へと進化した結果、現在は多くの固有種が見られ、植物（維管束植物）で36%、昆虫類では28%、陸産貝類では94%にもなります。小笠原諸島の集落地などを除いた陸域と、一部海域は世界自然遺産の区域となっております。その他63%は自然公園法による小笠原国立公園に、53%は林野庁による森林生態系保護地域に指定されています。

CONTENTS

心、動く、小笠原の魅力 02

自然体験① 04

海のアクティビティ

自然体験② 06

陸のアクティビティ

環境学習 08

ウミガメ飼育体験／環境保護活動

平和学習 10

戦跡見学／小笠原の歴史

異文化交流 12

郷土芸能体験／伝統工芸体験

船旅体験 14

おがさわら丸による船旅

滞在中の基本情報 16

宿泊／食事／医療／緊急時 他

世界自然遺産

東京 ↔ 東京

片道 **24時間**

楽しんで行けたら、楽園じゃない。

小笠原諸島は東京都ですが、
竹芝からの定期船で24時間かけて行く南の島です。



父 母 兄 妹
島 島 島 島

家族で、待ってます。

小笠原諸島には、家族の名前の島が多数あります。



固有種 **94%**

「地球上にここだけ」という
言葉に人は弱い。

小笠原諸島のカタツムリは約94%が固有種であり
他にもこの島にしかない生物がたくさんいます。



イルカ イルカ **クジラ** イルカ

ニンゲンという哺乳類に
会いすぎていました。

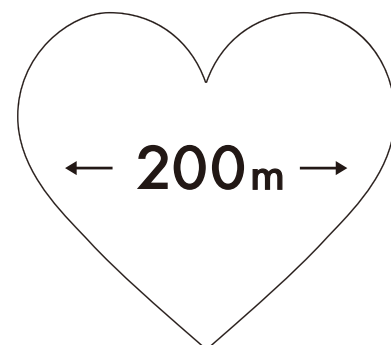
小笠原諸島では1年を通して
クジラやイルカなどの鯨類に出会うことができます。



1week

一週間帰れないってことは、
一週間遊べるってことです。

竹芝との定期船は、ほぼ週一便です。
最短でも5泊6日になります。



父の愛は、大きい。

父島には「ハートロック」と呼ばれる
200mを超える巨大な赤い岩があります。



1位

夜がすごいんです。

小笠原諸島の星空は
2年連続で全国1位に選ばれました。



さよならは言わない。
いつでも帰っておいで。

小笠原諸島では「いってらっしゃい」と
出港を見送る感動の別れがあります。



島で得られる5つの学び。

世界自然遺産・小笠原諸島には、教育旅行に適したコンテンツが揃っています。

学校生活という感受性豊かな時期に

小笠原諸島を訪れた体験は一生ものの宝になります。

ぜひ貴校の特色づくりの一環として、当地への教育旅行をご検討ください。



自然体験



環境学習



平和学習



異文化交流



船旅体験



海に学び、魚と遊ぶ。

自然体験 海のアクティビティ

どこまでも濃く深く透き通る、小笠原の海。カラフルなサンゴ礁や熱帯魚、さらにイルカやクジラもみられる、ダイナミックな海を体験できるプログラムです。



体験ダイビング

小笠原の美しい海でダイビングを体験してみましょう。透明度の高い静かな場所で、インストラクターが丁寧に教えてくれます。ビーチエントリーとボートエントリーが選べます。

シュノーケリング体験

透明度の高い海をインストラクターが案内します。ビーチからのシュノーケリングはもちろん、サンゴ礁やたくさんの魚がみられる海域公園にボートで行くこともできます。

シーカヤック・マリンスポーツ体験

紺青の海をすべるように進むシーカヤック。エンジンを使わない自然に優しいシーカヤックで小笠原の海へ。波の穏やかな二見湾でインストラクターとともにクルージングや自然観察を楽しめます。



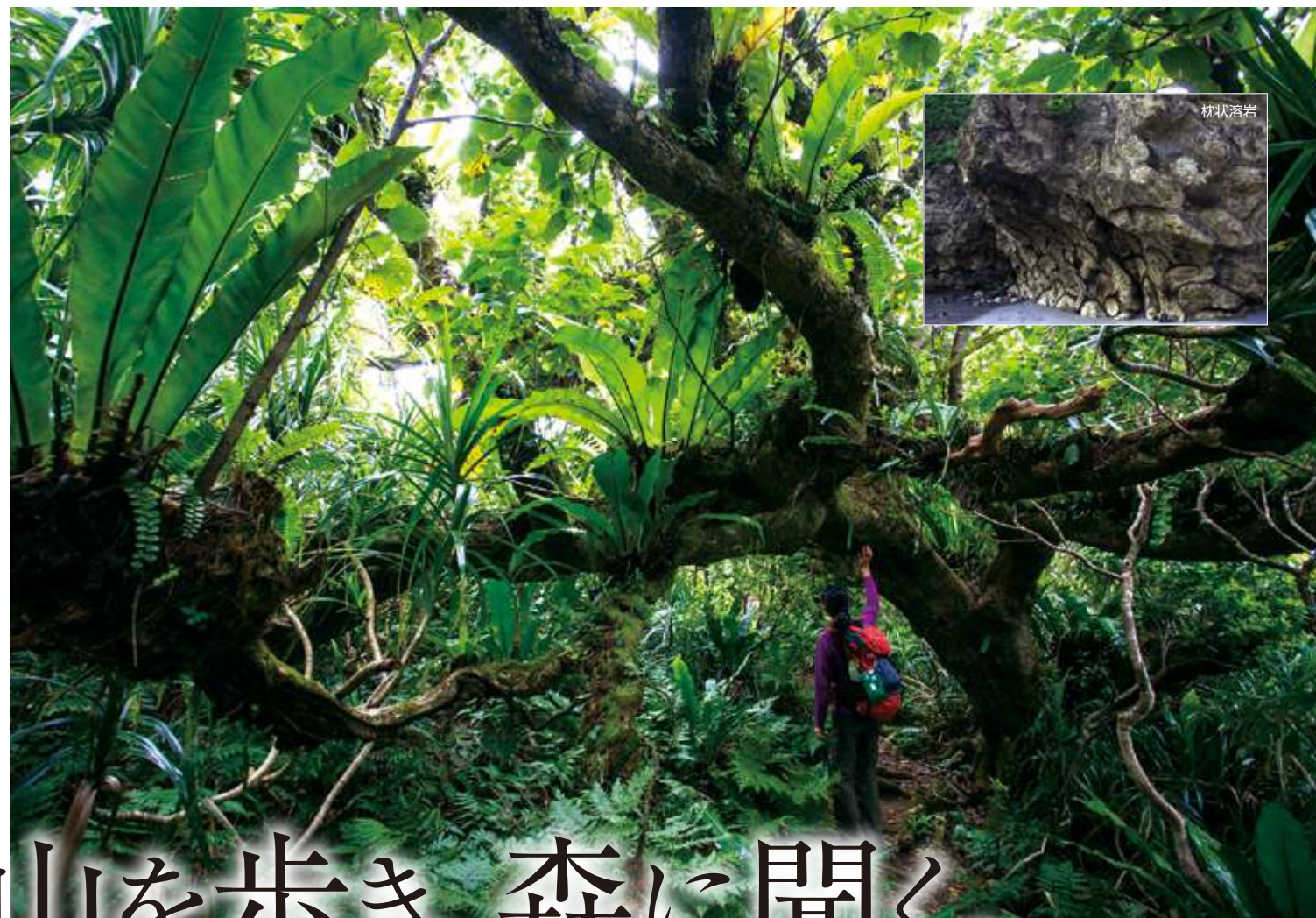
イルカ・クジラウォッチング & ドルフィンスイム体験

小笠原諸島の沿岸に生息する野生のイルカやクジラを見に行くプログラムです。イルカやクジラを専門に研究する小笠原ホエールウォッチング協会との連携により教育効果の高いプログラムも実施できます。



海域公園&南島観察

小笠原諸島には14ヶ所の海域公園があり、美しい海中景観が楽しめます。また、海域公園地区にある南島は石灰岩でできた沈水カルスト地形の島で天然記念物に指定されています。



山を歩き、森に聞く。

自然体験 陸のアクティビティ

大陸と一度も陸続きになったことがない小笠原諸島では、海流、風、鳥などによって運ばれてきた動植物が独自の進化を遂げました。原生状態を保つ亜熱帯の森や山で、小笠原独自の生態系を学ぶプログラムです。



自然観察 森歩き・トレッキング体験

適切な知見と経験を持ったガイドが同行することで、動植物への関心を高め、また、小笠原固有の生態系や保護活動について深い知識が得られます。

小笠原の固有種＆希少種



ハハジマメグロ
(特別天然記念物・固有種・希少種)
小笠原村の鳥に指定。名前の由来になっている目の周辺の三角状の黒い斑紋が特徴。



ヒメカタマイマイ
(特別天然記念物・固有種・希少種)
カタツムリの仲間は、小笠原の中でも様々な進化を遂げた生きものの代表例。



マルハチ
(固有種)
大形の木性シダで、その名のとおり葉痕が円の中に逆さ八の字の模様になって見える。



アカガシラカラスバト
(特別天然記念物・希少種)
ハトの仲間ではやや大型で、全身が金属光沢を帯びた黒色、頭部は赤紫色、喉はブドウ褐色。



シマホルトノキ
(固有種)
母島では、桑ノ木山や石門山地域に生育し、巨木化している。島名「コブノキ」。



ムニンヒメツバキ
(固有種)
小笠原村の花に指定されている。初夏に一斉に白い花を開花させる。



ハハジマノボタン
(固有種・希少種)
母島の乳房山・堺ヶ岳などで見られる。7月頃に淡桃色の5弁の花をつける。



テリハハマボウ
(固有種)
一年中花が見られる。朝のうちは黄色だが、夕刻になるにつれ赤く変化する一日花。



生態を知る。

環境学習 ウミガメ生態学習・環境保護活動

外来種の侵入などにより脅かされている小笠原諸島の生態系は、多くの人々の努力により守られ、保たれてきました。生態系バランスの重要性を学び、さらに環境を守るさまざまな活動を通して、環境への関心を高めるプログラムです。



ウミガメ生態学習プログラム

小笠原諸島は日本で最大のアオウミガメの繁殖地です。その生息数は、1800年代後半から1900年代にかけての乱獲により激減しました。しかし、その後の長年にわたる調査や資源保全の努力の結果、回復の兆しがみられています。アオウミガメの調査・保全活動を体験し、環境について考えてみましょう。



環境保護活動

小笠原諸島固有の生態系は外来種の侵入により、危機的な状況にあります。小笠原の自然を積極的に守る手段として、外来種の駆除作業が行われています。駆除作業を体験しながら、身の周りの自然環境について理解を深めましょう。

ビーチクリーン

絶海の孤島である小笠原には、多くの漂流ゴミが流れ着きます。環境保護活動の一環として海岸清掃を行うことで、ウミガメなどの海洋生物を守るとともに、ゴミを捨てない、見つけたら拾うといった意識を育むことができます。

固有の森修復体験

人口が急増した明治期～昭和初期にかけて薪材として移入したアカギですが、繁殖力が旺盛なため爆発的に増え、現在では母島全体の15%がアカギ林になってしまいました。このプログラムでは、アカギ抜き取り作業等を行います。

小笠原世界遺産センター

小笠原諸島の自然環境の価値、保全対策、外来種に関する情報を発信しています。





歴史を巡り、今を考える。

平和学習 戦跡見学と小笠原の歴史

太平洋戦争末期に本土防衛の最後の砦として重要な戦略拠点となった小笠原。その島近辺で「戦争の傷跡」として静かに眠っている艦船や旧日本軍の大砲など歴史の記録を巡る平和学習プログラムです。



小笠原諸島は第2次世界大戦中アメリカ軍との戦争の舞台となり、父島、母島は空からの激しい攻撃を受けました。また、硫黄島では大激戦の上、多くの人が犠牲となりました。島には当時、日本軍の築いた数多くの防空壕や大砲など戦争の跡が残っています。悲惨な歴史を繰り返さないため、現在残る戦跡を巡りながら、平和の大切さについて考えてみましょう。



境浦の沈船 攻撃を受けて座礁した濱江丸。今では魚の住処となっており、シーカヤックやシュノーケルで近づくことができます。



聖ジョージ教会 第二次大戦の空襲で戦前の教会は焼失しましたが、昭和42年(返還1年前)に米軍と島民の尽力により建設されました。



防空壕と大砲 戦線に点在するトーチカや旧日本軍の大砲が、小笠原には数多く残っています。





南洋踊り体験

南洋踊りは、南洋貿易が盛んだった時代に南洋諸島で踊られていた踊りが伝承されたものです。東京都指定無形民俗文化財に指定されています。

古と文化に触れる。

異文化交流

郷土芸能・伝統工芸体験

南の島から伝わった南洋踊り、伝統工芸体験で島の方たちとの交流をするプログラムです。



タコノ葉細工体験

小笠原の伝統工芸。島に自生するタコノキの葉を煮て干すなどの加工をして材料にしたものでプレスレット作りを体験できます。

草木染め体験

アカギやモモタマナなど島に自生する植物を使って草木染を作成、体験できるプログラムです。

その他のプログラム

荒天時の代替えプログラムや、ちょっとした時間を使ったタコノ葉細工等、色々な体験プログラムも実施可能です。



小笠原ビジターセンター



小笠原世界遺産センター

ウォークラリー

チェックポイント等を設定した徒歩によるウォークラリーの実施が可能です。コースについては、実施目的や生徒の体力などを考慮して、学校と協議しながら設定することになります。村内の遊歩道等を利用した展望台周遊コース、公共施設の見学コース、村内観光スポット巡りコースなどがありますので、事前に旅行会社、現地観光協会にご相談ください。



ナイトツアー

夜の森でほのかに緑に光るのはグリーンベベ、オガサワラオコウモリなど夜行性の生きものの観察もできるかもしれません。



サンセット

夕方になると島の人々も海岸や展望台に集まってきます。空が赤く染まり、水平線に沈んでいく夕日を眺めながら、地球の雄大さを感じることができます。



ローズ記念館

1992年に郷土資料館として開館したローズ石で作られた記念館。タコノ葉細工体験が可能です。



星空観測

夏以外でも天の川が見えてしまうほど星の数の多い小笠原。北緯27度の「星空 日本一」を観測できます。



友と語り、仲間を思う。

船旅体験

おがさわら丸での船旅

東京港竹芝桟橋から小笠原・父島までの距離は約1,000キロあり、離島航路として日本で最も長い航路です。日没や日の出が見られる、24時間の船旅は船中泊を伴う貴重な体験ができます。



おがさわら丸のお見送り

おがさわら丸が船着場から離れた後、島民がクルーザーや漁船で併走し、お見送りをします。小笠原では、「さようなら」ではなく「いってらっしゃい、また来てね」が別れのあいさつです。



小笠原太鼓

「航海安全 皆再会」という願いも込めて、二見港では小笠原太鼓のパフォーマンスでお見送りします。



小笠原滞在中の基本情報 (2017年5月現在)

宿泊形態

- 小笠原には父島に63軒、母島に13軒の宿があり滞在中はこれらの宿に分かれて宿泊する事になります。
- 宿の規模は、定員20名～30程度のもので多く宿スタッフの暖かいおもてなしが自慢です。
- 宿泊エリアは利便性の高い集落をはじめ、自然環境豊かな地域にも点在します。目的に合わせてお選び頂けます。

村営バスについて

父島では村営バスが集落地区と小港海岸を、おおむね1時間に1便の間隔で往復しています。
島内の移動に便利です。
【乗車料金】
大人200円、小人100円
(1日乗車券もあり)



通信環境

- 携帯電話はNTTドコモ、au、SoftBankが父島・母島ともに使用できますが、母島では集落以外の場所はほぼ圏外です。
- 公衆電話は島内に数カ所設置されています。
- インターネット回線は光ケーブルを利用した高速インターネット接続が利用可能です。
宿泊施設によってはインターネットが利用できるLAN(有線・無線)端子が完備されており持ち込みPCでのインターネット接続が可能です。

商店

島内にはスーパーやお土産屋、雑貨店、文房具店、薬局(※薬局は父島のみ)等がありますが、午後6時にはたいてい閉まっています。必要品のご購入の際はご注意ください。
なお、24時間営業のコンビニエンスストアはありません。



小笠原の平均気温・降水量(父島)

平成27年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
最高気温(℃)	20.1	19.3	22.2	26.0	27.2	29.4	31.0	30.4	30.1	28.1	26.8	24.1	26.2
最低気温(℃)	15.5	14.2	16.4	20.5	23.2	25.5	26.7	26.0	25.8	23.7	22.3	19.6	21.6
降水量(mm)	64.0	11.0	12.5	35.5	176.0	56.5	27.0	368.0	316.5	114.0	153.5	77.0	1411.5

食事について

- それぞれの宿では朝と夕の2食が付きます。
宿ごとに島の素材を使った工夫を凝らした料理でおもてなしいたします。
- 昼食は、お弁当が基本になります。

小笠原での現金引き出し(ATM)

各ATMでご利用になれます。ご利用可能な時間、取扱銀行はそれぞれ異なります。
〈JA東京島しょ小笠原父島支店〉
平日／8:00～17:00 土曜日／9:00～12:00
〈JA東京島しょ小笠原母島支店〉
平日／8:30～16:00 ※平日のみ
〈七島信用組合小笠原支店〉
平日／8:45～18:00 土日祝日／9:00～17:00 ※父島のみ
〈小笠原郵便局〉
平日／9:00～17:30 土日祝日／9:00～17:00 ※父島のみ



注意事項(持ち物)

- 小笠原の日差しは大変強く、無防備でいるとたちまち火傷状態になってしまいます。
日中、海や島内を散策する場合、帽子や日焼け止め、サングラス等の日焼け対策を忘れずに。
- 履物は、山では運動靴程度、海ではマリンスーツ等すべりにくい靴をおすすめします。島内においても、滑りづらいサンダルが販売されています。
- 朝夕や、海上では予想以上に寒くなる場合があるので、ウインドブレーカー等を持参してください。
- 突然の雨に備えて雨具(カッパ)を持参してください。
- 集落以外には、商店や自動販売機はありませんので、水分等の確保にはご注意ください。

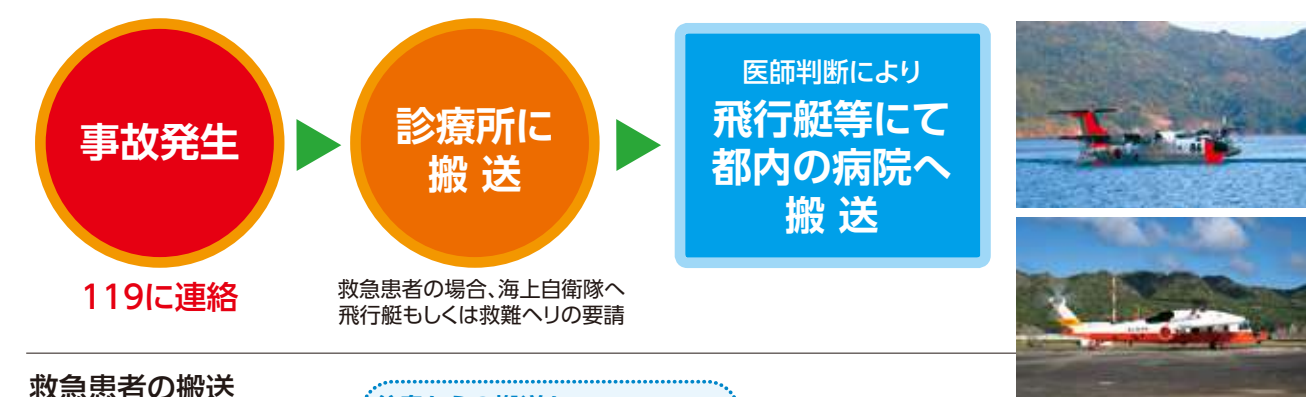
医療について

父島・母島ではそれぞれ村営の診療所に医師が常駐し、病気やケガの診療を行っています。村内で対応できない患者が発生した場合には、東京都を通じ海上自衛隊・海上保安庁等の飛行艇等を要請し、都内病院へ搬送します。24時間の急患搬送が可能で、飛行艇等の要請から病院収容までの搬送時間は平均10時間程度です。

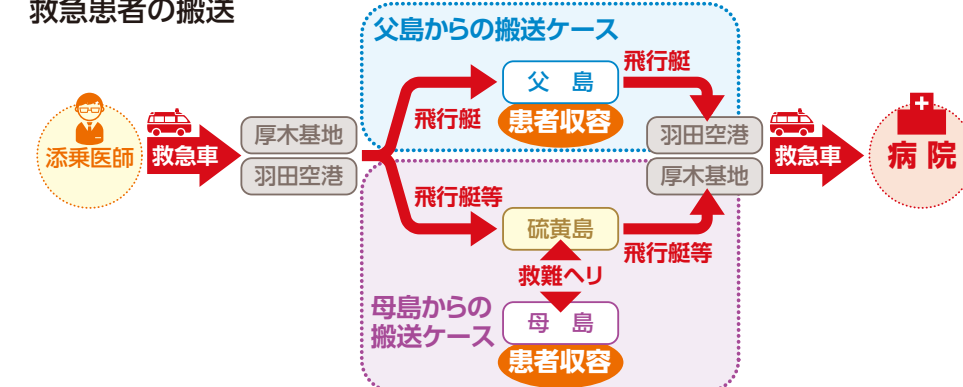
診療所	父 島	母 島
名 称	小笠原村診療所	母 島 診 療 所
所在地 電話・FAX	東京都小笠原村父島字清瀬 TEL.04998-2-3800 FAX.04998-2-2768	東京都小笠原村母島字元地 TEL.04998-3-2115 FAX.04998-3-2107
診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科、歯科	
診療日等	受付時間……………午前 8:30～11:00 診療時間……………午前 9:00～12:00(午後の診察は水曜日のみです) 水曜午後受付時間…午後13:30～15:30 診察時間……………午後14:00～17:00 歯 科……………平日の午前・午後(予約制)	
休診日	土・日曜日、祝日、年末年始[ただし、急患は随時対応(119番体制)]	

事故発生時の対応

万が一、事故が発生した場合は下記の流れで対応します。



救急患者の搬送



緊急連絡先 夜間・休日の救急 119

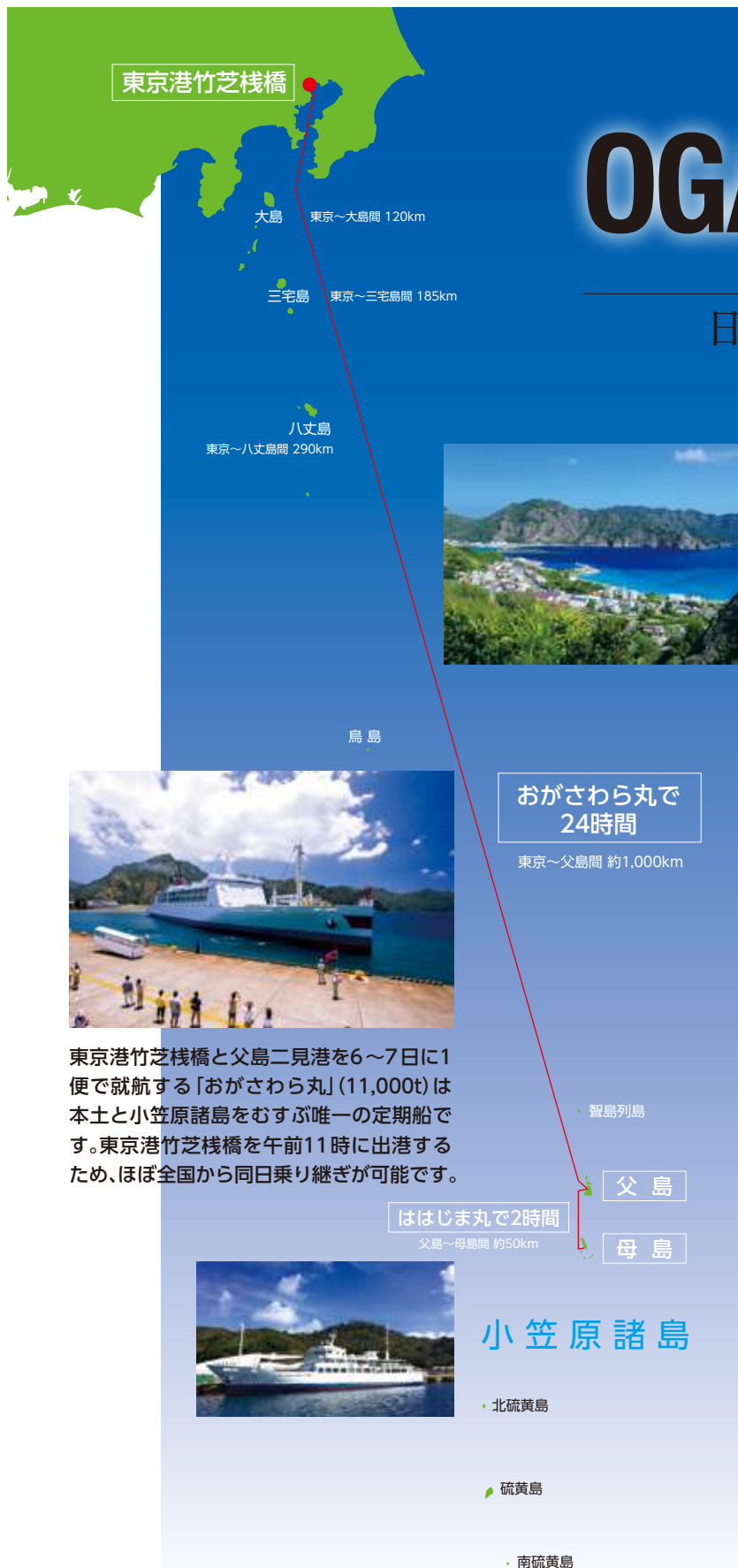
〈父島滞在中の緊急連絡先〉

小 笠 原 村 役 場 TEL04998-2-3111
小 笠 原 警 察 署 TEL04998-2-2110
小 笠 原 村 診 療 所 TEL04998-2-3800
小 笠 原 海 上 保 安 署 TEL04998-2-7118

〈母島滞在中の緊急連絡先〉

村役場母島支所 TEL04998-3-2111
母 島 駐 在 所 TEL04998-3-2110
母 島 診 療 所 TEL04998-3-2115





OGASAWARA

Tokyo Island

日本でいちばん遠い島
小笠原諸島へ

地 理

東京から南に1,000kmの太平洋に浮かぶ大小30あまりの島々の集まりが、小笠原諸島です。聳島列島、父島列島、母島列島、火山列島（硫黄列島）の他、西之島や日本最東端の南鳥島、日本最南端の沖ノ鳥島も含まれます。

自 然

亜熱帯の気候区分に属しており、気候は1年を通じて温暖です。これまで一度も大陸とつながったことのない海洋島で、独自の進化・適応を遂げた固有の動植物が多く自生しています。しかし、最近では人が持ち込んだ動植物が、本来の生態系を脅かすことも起こっています。

暮らし

現在、人が暮らしているのは父島と母島のみで（自衛隊や気象庁などをのぞく）、人口は両島合わせて2,600人ほどです。本土と小笠原を結ぶ定期航路は6～7日に1便のおがさわら丸のみで、ほとんどの物資がおがさわら丸で行き来します。おがさわら丸入港日の夕方は、野菜や牛乳などの生鮮食料や新着の雑誌、新聞で商店がにぎわいます。



歴 史

小笠原諸島は1593年に信州深志（松本）の城主小笠原長時の曾孫、小笠原民部小輔貞頼が発見したと伝えられています。その後探検や調査のために人々が訪れましたが、定住が始まったのは1830年。最初の定住者は日本人ではなく欧米人5人と太平洋諸島民を含む20数人でした。1876年には小笠原が国際的に日本の領土として認められ、日本人の移住と開拓が進みましたが、太平洋戦争後はアメリカ軍の統治下に置かれました。1968年ようやく小笠原は日本に返還され、戦後の復興を経て、今日に至っています。



東京港竹芝桟橋と父島二見港を6～7日に1便で就航する「おがさわら丸」(11,000t)は本土と小笠原諸島をむすぶ唯一の定期船です。東京港竹芝桟橋を午前11時に出港するため、ほぼ全国から同日乗り継ぎが可能です。

おがさわら丸で
24時間

東京～父島間 約1,000km

ははじ丸で2時間

父島～母島間 約50km



小 笠 原 諸 島

・北硫黄島

・硫黄島

・南硫黄島

World Natural Heritage Ogasawara Islands

世界自然遺産 小笠原諸島

小 笠 原 村 観 光 局

〒105-0022 東京都港区海岸1-4-15
島嶼会館2階（東京諸島観光連盟内）
TEL03-5776-2422 FAX03-3433-1525
e-mail tokyo@visitogasawara.com
URL <https://www.visitogasawara.com/>

小笠原村 産業観光課

〒100-2102 東京都小笠原村父島西町
TEL04998-2-3114 FAX04998-2-3222
e-mail sankan@vill.ogasawara.tokyo.jp
URL <http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>



<https://www.visitogasawara.com/education/>